

平成15年度

決算

当院の平成15年度経営状況をお知らせします



最新鋭の16列ヘリカルCT

平成15年度は、病診連携、介護、医療の相談窓口を一元化するため院内組織ではあるものの、医事課に地域連携室を新設しました。一方、医師の退職等により、産婦人科の産科部門の一時休診を余儀なくされ、利用者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。

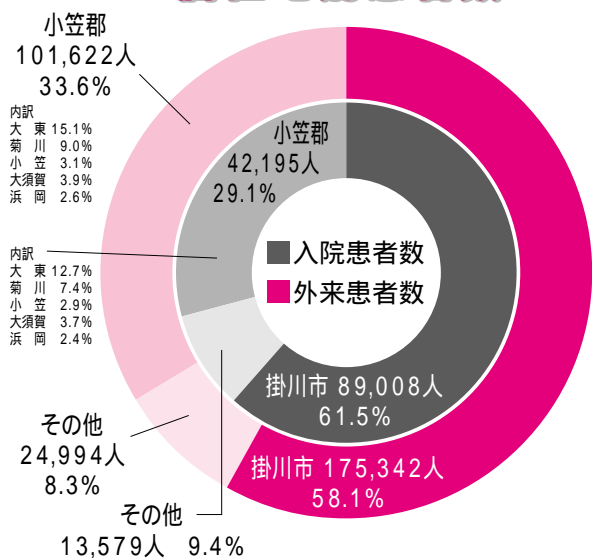
施設改良では、大規模災害時の医療活動への対応のため、防災備蓄倉庫建設工事を実施し、医療機器では放射線室にX線CT装置（ヘリカルCT）や健康安

心サロンのX線透視撮影装置2式の更新を行い、また備品では昨年度導入した新病院情報システムに第2次システムとして画像管理・病理検査部門を追加し、医療の高度化や患者サービスの向上に努めました。

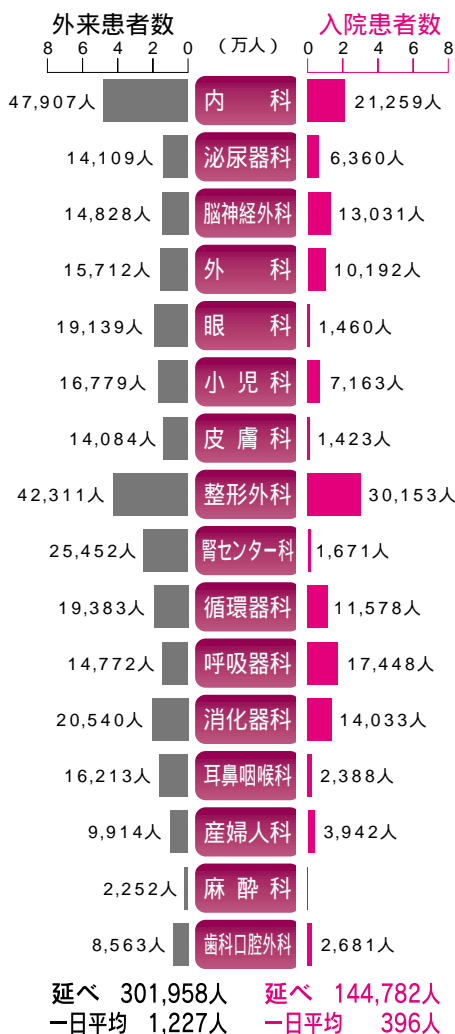
一方、病院経営では、収益の確保と経費の節減に努めた結果、収益は89億4687万円、支出は89億39749万円の純利益を計上しましたが、医業収支においては2億8830万円の損失となりました。平成16年度の診療報酬改定は1.05%の引き下げであり、医療制度改革の流れは厳しく、病院経営の環境は極めて厳しい状況であります。

今後一層多様化、高度化する医療需要に対応しつつ、経費節減に努め、信頼厚い病院経営に努めます。

居住地別患者数



科別患者数



収益的収入支出

